

クッチャロ湖と白鳥

浜頓別町にあるクッチャロ湖は、国内最北のラムサール条約登録湿地に位置づけられています。「ラムサール条約」とは、「特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約」のことです。ここは渡り鳥、特にコハクチョウの一大飛来地として有名で、春と秋の渡りのシーズンには、湖岸が白く埋め尽くされるほど沢山のコハクチョウを見ることができます。



初冬のクッチャロ湖の様子。シベリヤ方面からはるばる渡ってきた白鳥が羽を休めています。この後、本州の越冬地へと旅立つのでしょう。



陸にあがって休んでいる白鳥。越冬地への飛行ルートについて仲間内で相談でもしているような風情でした。



写真を撮っていると、餌をもらえると思ったのか、白鳥たちが続々と近づいてきました。至近距離で見ることができます。